

地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

みはライフ!

市外から移住して来た9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は
三原 一哲
です!

【出身】京都府京都市
【趣味】読書、登山、キャンプ
【活動エリア】本町地区を中心とする市内全域
【活動テーマ】遊休資産を活用した観光資源・拠点の創出



▲改修中の空き家の完成イメージを作り、関係者と共有

地域おこし協力隊
の活動は
市公式noteで!



問 地域企画課
TEL 0848-67-6011



▲専門家と協議しながら現地調査

瀬戸内海の芸予諸島「芸予瀬戸内」に魅力を感じ三原に移住してきました。多島美の景観やおいしい食材、人の穏やかさが素晴らしいと感じます。三原を芸予瀬戸内の観光ハブにしたいと考え、建築家の経験を生かして、日々勉強しながら活動中です。

観光拠点となるホテル・ゲストハウスなどの宿泊施設に加え、チャレンジショップやシェアキッチンなどの場所づくり・にぎわいづくりにも取り組むため、本町の空き家改修を始めました。DIY講習会「空き家再生実践塾」と西国街道・本町地区まちづくり協議会の見学会も、同会場を進めています。誰もがチャレンジできる場所を作っていきたいです。

楽しくチャレンジ
できる場所づくり

あんしん通信

（ 事故や犯罪、ゼロカーボンやごみに関する情報など、生活に役立つ情報をお届けします。 ）

問 環境施設課 TEL 0848-63-1210 FAX 0848-67-6069

【 その3 】

大そうじ「3R」を考えてみませんか?

大そうじの時に出てくる不用品
これ、どうして買ったんだっけ…?

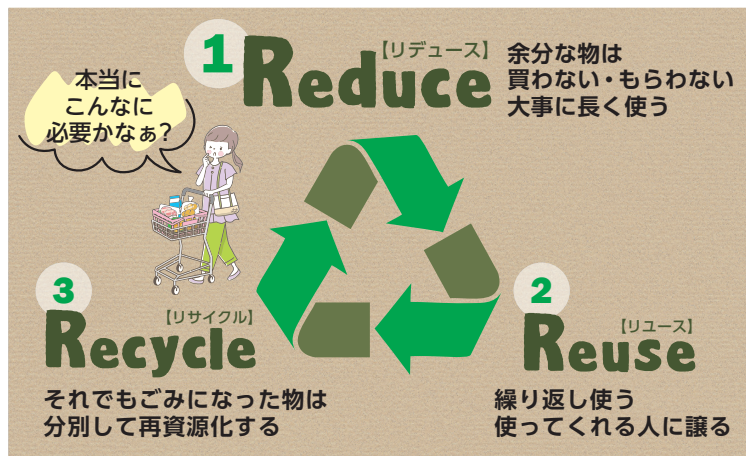
地球や環境にやさしい行動の基本「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」を、皆さんどれくらい実践できていますか?

年末の大そうじで出てくる「なぜ買ったのか分からない物」を並べてみましょう。これらは必要なのに購入した「不用品」。本当に必要な物だけを買うことを心掛けてください。これが3Rで最も重要な「リデュース」です。

また、リサイクルショップやフリマアプリを活用して、まだ使える物を必要な人に譲ることも検討しましょう。これが3Rの2番目に重要な「リユース」です。

「リデュース」でゴミを減らし、「リユース」で必要な人に譲ることも考えたけれど捨てるしかない物は、分別ルールを守って「リサイクル」。きちんとリサイクルされた不用品は資源として再利用されます。合言葉は「捨てたらごみ、分ければ資源」。

3Rを心掛け、小さなことから取り組みましょう。



令和6年のSNS型投資詐欺 ・SNS型ロマンス詐欺発生状況

● 広島県内 ()は前月比
発生件数: 268件 (+30件)
被害総額: 約30億1,570万円
(+約3億571万円)

● 三原警察署管内
発生件数: 10件 (+0件)
被害総額: 約7,087万円
(+0円)

※令和6年9月末。

今月のポイント

- ☐ 行動の基本は「3R」
- ☐ 「リデュース」…本当に必要な物か、購入時に吟味
- ☐ 「リユース」…不要な物を、必要な人に譲渡
- ☐ 「リサイクル」…捨てたらごみ、分ければ資源、正しい分別を

今月のコラム
第36回

市長



記者会見

市政への関心が
高まるように

令和6年も終わりが近づいてきました。年明けに立てた目標を達成した人、まだ取り組み中の人などそれぞれだと思いますが、市民の皆さんにとって穏やかな年の瀬となることを願っています。

さて、市では毎月定例記者会見を開催して、私から市政情報を説明し、記者からの質問に答えるという流れで進めています。記者会見の様子は誰でも閲覧できるよう、後日ケーブルテレビ(MCAT)や市ホームページで公開しています。

10月からは、堅いイメージを持たれがちな記者会見を変えていきたいと考え、新しく二つのことに取り組んでいます。

一つ目は、多種多様な表情やデザインが特徴の三原だるまの設置です。私の左前、皆さんから見て向かって右側に並んでいます。今後、季節感を取り入れた三原だるまを設置する予定なので、どんな装いのだるまが現れるか注目してください。



市HP

定例記者会見の
閲覧はこちらから



▲11月の会見の様子

二つ目は、イベントや祭りのポスターの掲示です。地域のイベントをより多くの人に知ってもらうため、私からも紹介し、一緒に盛り上げたいと考えています。

市民の皆さんの市政への関心が高まるように、また、市民の皆さんの役に立つ情報をお届けできるよう、記者会見の他にも広報誌やSNSなどの情報発信に、引き続き力を入れていきます。



ニュージーランド出身の
国際交流員コラム

● Vol.15 ●



CIR (国際交流員)
ジェイク・ロコブ

知ってる?

ニュージーランド

最も昼が長い日

日本の冬至の日がニュージーランドでは夏至の日になり、1年で最も昼が長い日です。最南端に位置するインバーカーギル市などでは、この時期は朝の4時頃から日が昇り、夜の10時頃でも日の光で明るく、屋外で新聞が読めます。

Information for foreign
nationals in Mihara

＜ CIRが三原の
魅力などを発信中! ＞

Instagram & Facebook



Instagram

Facebook



ポート・ヒルズでギターを弾く様子

ポート・ヒルズの山脈から夏の夜を楽しむ

18歳で車の運転免許を取得して、長距離のドライブが趣味になりました。特に夏は日没が遅いため、遠くに沈む夕日を眺めながらドライブが楽しめます。夕日を眺められる特に好きな場所は、故郷クライストチャーチ市の南側にある丘陵地ポート・ヒルズです。ここからは町全体が見渡せ、水平線のかなたまで海が広がっています。毎週のようにそこへ行き、日が暮れる午後9時頃まで気持ち良くギターを弾いていました。

ニュージーランドに住む多くの人にとって日長い12月は、友人や家族と充実した時間を過ごしたり、旅行をしたり、1年間の経験や成果を振り返ったりするのに最適な時期です。日の長さが15~16時間あるとしたら、あなたはどのように1日を過ごしますか?